

伊方原発をとめる大分裁判の会

第3回講演会・学習会

演題

「福島原発事故からみた 伊方原発の脅威」

講師

後藤 政志 さん

■熊本地震、鳥取中部地震と従来とは違った様相の地震が次々と起こるなかで、伊方原発はどこまで地震・津波に耐えられるか？

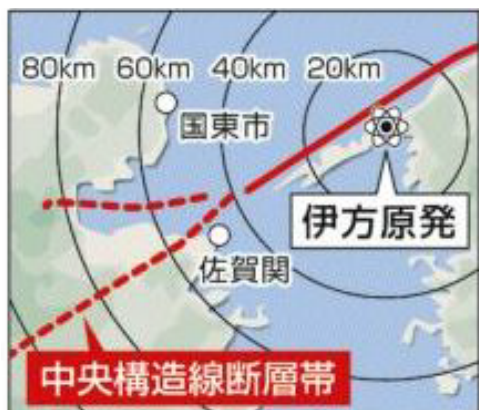
■福島原発事故を受けて伊方原発はどのような安全対策をしているのか。

■元原発技術者の視点から原発の安全性の考え方と伊方原発の規制基準の問題点を明らかにする。特に、沸騰水型と言われる福島原発とは異なる加圧水型の伊方原発はどのような欠陥があるか解説する。

講演会終了後
弁護団等との
学習会



- ・原子力市民委員会委員
- ・NPO法人APAST (アパスト) 理事長
- ・元東芝原子力プラント技術者
- ・元(旧)原子力安全・保安院ストレステスト意見聴取会委員
- ・明治大学、芝浦工業大学、國學院大學非常勤講師
- ・国会福島原発事故調査委員会 協力調査員
- ・工学博士



11月25日(金)

入場 17:30 / 開演 18:00~20:30 *定員100名

大分市 コンパルホール 4F 400号室

入場料：裁判の会会員無料 / 一般市民 1,000円 (カンパ)